

1

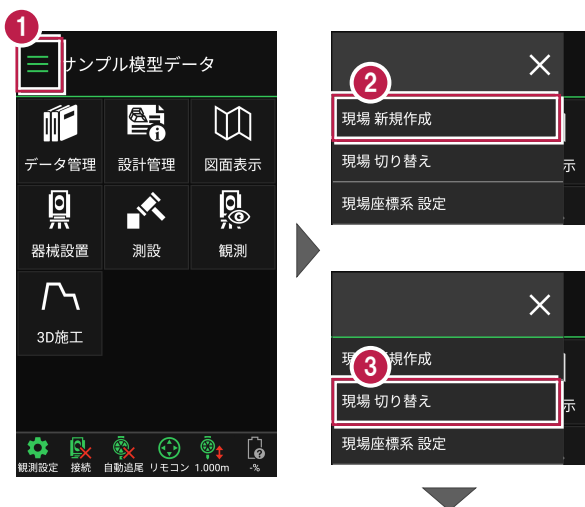
観測前の準備

TS出来形の現場を作成し、基本設計データを取り込みます。

1-1 現場を作成して基本設計データを取り込む

■ 現場を新規作成します

- 1 ホーム画面の「メニュー」をタップします。
- 2 現場を新規作成する場合は、
「現場 新規作成」を
タップして、TS出来形を
おこなう現場を作成します。
- 3 現場が作成済みの場合は、
「現場 切り替え」を
タップして、TS出来形を
おこなう現場に切り替えます。



現場の作成方法や切り替え方法について詳しくは
FIELD-TERRACEのヘルプ（マニュアル）の
「基本操作」-「2 観測前の準備」-
「2-1 現場を作成する」
を参照してください。



TS 出来形の現場を作成する方法

●「現場 新規作成」の場合

現場の作成時に「TS出来形管理」を「する」に設定してください。（右図）

※この設定は後で変更することはできません。

●「XFDファイルを取り込んで現場を新規作成する」の場合

XFDファイルの取り込み時に、右図のメッセージが表示されます。

「する」をタップして現場を作成してください。

XFDファイル内に「基本設計データ」がある場合は、同時に取り込まれます。このとき

- ・工種（道路/河川）
- ・省庁（国土交通省/農林水産省）

も、基本設計データから自動で設定されます。

TS 出来形の現場の特徴

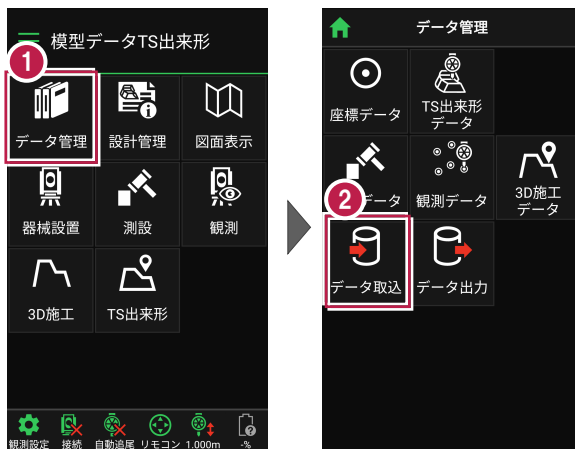
- ・「TS出来形管理計測」が可能となります。
- ・ 接続するTSの「等級」が設定可能になります。
（等級の設定ができない機種もあります）
- ・ TS出来形計測時の器械設置に制限がかかります。
（既知点設置、後方交会法で観測する測点や TSと測点の距離など）
- ・ TS出来形を「する」「しない」を設定できるのは、現場作成時のみです。
後から変更することはできません。

■ 基本設計データを取り込みます

TS出来形に必要な基本設計データを取り込みます。

- 1 ホーム画面の
「データ管理」をタップ
します。

- 2 「データ取込」をタップ
します。



- 3 データ取込画面の
「路線データ（基本設計データ）」
を選択して、基本設計データを取り込みます。



取り込む基本設計データ

- ・ TS出来形用のXML
- ・ 基本設計データを含んだXFD

路線データ（基本設計データ）の取り込み方法について詳しくは
FIELD-TERRACEのヘルプ（マニュアル）の
「基本操作」-「2 観測前の準備」-「2-2 設計データを取り込む」
を参照してください。

基本設計データの扱いの注意点

- ・ 取り込み可能なのは、基本設計データXMLの「バージョン4.1」のみです。
- ・ 基準点/水準点が含まれている必要があります。
- ・ 「国土交通省」と「農林水産省」に対応しています。
取り込んだ基本設計データの省庁は、現場設定に表示されます。
- ・ 現場設定の「工種」の設定と異なる基本設計データは、取り込むことができません。
- ・ 「データ管理」の「路線データ」から取り込む場合は、現場設定の「TS出来形管理」が「する」に設定されている必要があります。
- ・ 「土工編」か「舗装編」かは、取り込み時に工種から自動判断されます。
- ・ 基本設計データを「再取り込み」する場合は、計測データを保持するかを選択します。
再取り込みする基本設計データのバージョンが同じなら、計測データを保持して取り込みます。
- ・ 異なる省庁の基本設計データの再取り込みはできません。
国土交通省→農林水産省→× 、 農林水産省→国土交通省→×